

平成31年度 第5回 経営協議会議事概要

日 時 令和元年12月10日(火) 16:00~17:15

場 所 オリエンタル福岡 博多ステーション

出席者 別紙のとおり

本学の活動状況について

学長から、「本学の活動状況」について、資料に基づき報告があった。

報告事項

1. 平成30年度に係る業務の実績に関する評価結果について (報告事項1の資料)

学長から、平成30年度に係る業務の実績に関する評価結果について、資料に基づき報告があった。

2. 「国立大学改革方針」を踏まえた国立大学との徹底した対話の実施とその対応について

(報告事項2の資料)

学長から、「国立大学改革方針」を踏まえた国立大学との徹底した対話の実施とその対応について、資料に基づき報告があった。

学外委員から、以下のとおり意見等があった。

- ・ AI や IoT などの技術進化を支える論理的思考やグローバル化を進める上での外国語の習得等について、小・中学校段階でしか基礎を身に付けることはできないと考えられることから、教員養成大学の役割が以前にも増して重要となることを大学としても意見すべきではないか。
- ・ 今後国や教育界が求める教員の養成については、総合大学の教育学部レベルでは難しくなることが予想されることから、貴学は上記教員養成を担える大学となるべきである。
- ・ 今後教職大学院は、教職専門担当教員に加えて教科専門担当教員を入れることで機能拡充を図ることは、高度な養成機能を果たすものになるか、学部段階の教科教育・教科専門・教職専門全ての裾野を広げたものを教職大学院が担うものになるのか。
- ・ 現在自治体によっては、首長主導で教育改革が行われている地域もあり、それらの自治体は既存の教育界と一線を画しつつあることから、貴学も改革のスピードを上げて、教育現場だけでなく、各自治体が独自に抱える教育課題を解決できるよう連携強化も進めていただきたい。

学外委員に対し、学長及び理事(企画・教育研究・附属学校、教育組織・カリキュラム担当)から以下のとおり説明があった。

- ・ 現行の教職大学院制度の大きな課題の1つに、従来の大学院修士課程での指導体制とは違い、教職大学院に籍を置く教員は学部での指導が大きく制限されていることが挙げられる。
- ・ 教職大学院の機能としては、研究活動よりも教職実践等の実務面の指導に力点が置かれているのが現状である。

その他

1. 次回の開催日程について

次回の会議は、令和2年1月28日(火) 13:30から事務局特別会議室で開催することとした。

説明資料等

参考資料 1 福岡教育大学の活動状況

報告事項 1 の資料① 平成 30 年度に係る業務の実績に関する評価の結果について（通知）

報告事項 1 の資料② 平成 30 年度に係る業務の実績に関する評価結果

報告事項 1 の資料③ 国立大学法人等の平成 30 年度評価結果について

報告事項 2 の資料 「国立大学改革方針」を踏まえた国立大学との徹底した対話の実施に向けた調書の作成等について（依頼）